



伊藤 保 議員



貧困世帯児童の塾代援助を

問 前回の一般質問では、要保護・準要保護児童に対する

支援の中で、塾に通うための援助はないとの答弁であった。その後調べてみると、こども未来応援事業という、貧困の連鎖を断ち切るために行っている自治体の制度があるが、本市はこの事業を行っているか。

答 こども未来応援事業という名称を使った事業は実施していない。

問 北海道北広島市では、生活が困難な世帯の中学生が通う学習塾や習い事に要する費用の一部を助成する「子ども未来応援事業」を昨年から開始した。北広島市が一つの方向性を示して、中学生を対象に上限を設けて始めたのではないかと思うが、本市はこの事業について、今後の計画はあるか。

答 今のところ地域子供の未来応援交付金を活用した事業

の実施計画はないが、今後先進事例などを研究していきたい。



SDGsを取り込んだ計画とは

問 市長の公約では、持続可能な地域づくりとして、SDGsを総合戦略に取り込むとあるが、私は総合戦略そのものが行政のSDGsではないかと思う。どのような計画を考えているのか。

答 私がまちづくりの基本方針として訴えてきた「豊かな旭を次世代につなげる」ということも、このSDGsを意識したものである。旭市総合戦略には、SDGsについての直接的な記載こそないが、持続可能なまちづくりを推進するための基本施策などは掲げており、具体的な市政への反映方針などについては今後も検討や精査を重ねる。

その他の質問事項

- 新生児聴覚スクリーニング検査
- 飯岡刑部岬展望館「光と風」

市外に住んでいる保育士にもワクチン接種を

問 学校の先生や保育士はほとんど接種が終わっているという認識でいたが、銚子市から通勤している保育士がまだ終わっていないという話を聞いた。大事な子どもたちを見てくれている先生や保育士がまだ接種していないということがあるのか。

答 市外に住んでいる方については、ワクチンの在庫量の関係があり、まだ接種が進んでいない。現在前向きに調整・検討している。

都市計画税の見直しを

問 都市計画税について、新市長の認識は。

答 都市計画税は、市が行う都市計画事業、施設の整備などに要する費用に充てるための目的税であり、農用地を除いた旧旭市地域の土地及び家屋に課税している。現在実施中の都市計画

事業はないが、過去に整備した施設の償還金などに充当している。なお、最終の償還完了は令和27年度を予定している。

問 償還金の最終が令和27年度ということ、あと60億円も借金があることになり、合併してからだと旧旭市民が多く払う税金が100億円にもなる。もしこの都市計画決定がほかの地域にされず、旧旭市だけで完結してしまつた場合、税金も旧旭市だけに集めるのか。

答 現在都市計画区域の見直しを進めており、併せて都市計画税の見直しを進めていきたいと考えている。そのため、新しい都市計画が決定するまでは、現状を維持していきたい。



都市公園「袋公園」

その他の質問事項

- 市長の政治姿勢について
- 生活道路について